

literary work

うたごよみ ～弥生～

「短歌」

塚原 暁益 選

お隣の庭の紅梅春を告ぐ
日毎開花し見ては楽しむ

池田キヨ子

買物に母子三人久しぶり
よく喋りては帰れば寂し

赤星 文子

ドンドンと音立て流る緑川
やな場の夜にレストランの灯

赤星 延子

静けさに窓を開ければ庭白く
紅き椿が一輪咲きぬ

内田乃武子

学業と部活を共にはげむ孫
輝く姿夢にあふれり

緒方 明美

海越えて「野球しよう」と子どもらに
届くグローブに笑顔弾ける

吉永由紀子

独り居の節分の夜は多忙なり
鬼になつたり福になつたり

塚原 暁益

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447 (内線321)



「肥後狂句」

北川直美 選

でべそ
居らんと困る村祭

広田みどり

でべそ
前の晩から起きとらす

下山 千恵

でべそ
うちの母ちゃん今日も留守

志垣 光

でべそ
趣味は旅行て言わす苦

佐藤 葵

でべそ
そろそろ車出さす頃

平井やよい

でべそ
自慢話しに割り込ます

光永 六

でべそ
隣は今日も居らつさん

井元あざみ

でべそ
カラオケいつも独り占め

日高 美里

でべそ
呼びもせんのにしゃしゃり出て

上田 梅清

でべそ
目立つ姿は変装で

中村 南幸

でべそ
通夜にも心弾ませて

北川 直美

※「でべそ」は、甲佐弁で「出たがり」、「目立ちたがり」の意

ひとの動き

1月11日(木)～2月10日(土)届出

お誕生

住所	氏名	性別	保護者
船津	森田 蒼唯 <small>あおい</small>	女	晋太郎
芝原	河野 友音 <small>ゆうと</small>	男	晃之
早川	野口 陽柚 <small>ようゆう</small>	女	拓哉

ほか1人

ご結婚

今月の婚姻夫婦 1組

お悔やみ

住所	氏名	年齢	世帯主
下横田	佐藤 エイ子	94	エイ子
船津	日隈 澄枝	91	澄枝
東寒野	仲葉 京子	89	京子
船津	野仲 睦明	86	正
中山	植原 エミ子	90	エミ子
中横田	牛堂 義光	78	和香奈
西寒野	三浦 岫美	88	岫美
西寒野	永野 美恵子	88	美恵子
中横田	谷崎 秀一	65	優子
田口	東 昭子	83	幸一
上揚	池上 洋	72	明美
坂谷	藤田 終子	98	一郎
仁田子	緒方 愛子	94	愛子
豊内	勝本 ミドリ	93	ミドリ
津志田	野口 幸子	81	幸子
早川	入口 モトエ	101	モトエ

ほか5人

Let's make health

甲佐の野菜で作ってみよう！

菜の花ごはん

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）



【材料（4人分）】

お米……………2カップ
 だしの素……………小さじ1
 赤酒……………大さじ2
 塩……………適量
 菜の花……………1/2～1束
 水……………350cc
 卵（M玉）……………2個

【作り方】

- ①お米を研いでざるに上げます。
- ②菜の花の根元を切り落とし、塩を少々入れて茹でたら冷水に取り、固く絞ります。
- ③②の菜の花を2割くらいに切り醤油小さじ2を振り混ぜ合わせます。
- ④卵をしっかり溶きほぐし、塩ひとつまみを加え炒り卵を作ります。
- ⑤炊飯器に①の米、だしの素、赤酒、塩を入れ、ひと混ぜしてからスイッチを入れる。
- ⑥炊き上がったご飯に、菜の花と炒り卵を混ぜ合わせたら出来上がり。

ふるさと甲佐

応援寄附金

▶ご寄附いただいた皆様

お名前	ご住所
・松尾 直子様	東京都
・菅沼 里美様	静岡県
・江尻 明隆様	東京都
・宮本 薫 様	神奈川県
・佃 延夫様	千葉県
・袴田 美紀様	三重県
・島村 隆之様	大阪府

ほか多数

■お問い合わせ

町企画課
 ☎096-234-1154

ふるさと納税の
 詳細はこちらを
 チェック！▶



ご存じですか？

緑川の土手に黄色い“菜の花”が咲き、風に吹かれてそよそよとすると春が来たな～と感じます。

めであるだけでなく春を味わうこともできる菜の花です。特に絶対食べなければというものではありませんが、実はβカロテンを多く含んでいます。これには抗酸化作用があるため、活性酸素から細胞を守り、健康促進効果が期待されるのですね。

先月編集後記で「冷え込まない日が続く」と書いた直後に寒い日が続きましたが、やっと冬のピークが過ぎた感があります。そんな時節、もう大丈夫でしょうということ、春のお出かけをテーマにした特集を組みました。身近過ぎる場所はなかなか訪れないもので、行ったことが無いスポットがいくつもありませんでした。甲佐町を広報するものとして精進いたします。

また、今回取材させていただいた「まきの農園」の牧野さんとても素敵な方で、楽しい取材でした。娘さんが家庭用に育てているという唐辛子の試食もさせていただきましたが、冬にもかかわらず汗が止まらなくなる程辛く（美味しく）刺激的な取材となりました。

（ず）

編集後記